

平成25年度 まちづくり座談会（赤沢地区）

◎会場 赤沢公民館

◎日時 6月25日（木）午後6時30分～9時

◎参加者 17人

◎役場出席者 16人（町長、教育長、経営支援部長、福祉課長、農林課長、土木課長、水道事業所長、企画課長、福祉課職員2人、企画課職員6人）

質 疑 応 答

=====

1部：「町からの話題」について

○「オガール次々に建つ」について。エネルギーステーションの二酸化炭素（CO₂）削減は、従来の住宅に比べてどの程度違うのか。

●【公民連携室長】

現在試算中で、まだ公表しておりません。エネルギーステーションは、他の施設と一緒に考えているもので、まだ事業が固まらないため、単価はお見せできない状況です。

○オガール地区は、具体的にはどのように町内の各地域とつながりを持つていくのか。

●【公民連携室長】

開発時に、地元の建設会社に建設していただくこと、そして各地域から産物を産直「紫波マルシェ」に出荷していただくこと、さらにエコハウスを、町内の建設会社や工務店が建築することで経済的につながると考えます。また、情報交流館を通じて、各地域との交流が生まれています。

○中央駅前の開発がどんどん進み朝晩の交通量が増えています。交通量の緩和など、どのように考えているのか。

●【企画課長】

右折ゾーン（車線を広くしたもの）を設け、擬似的に右折レーンのようにしました。信号も設置しましたが、交通混雑量の緩和には至っていません。オガールプラザ北側道路（町道南北線）の完成で、最終的には3方向からオガール地区へ侵入できるようにしたいと考えています。

駅の東側に駐車場の用地を確保しています。この駐車場が整備されると、交通量が分散されるのではないかと考えています。今後、対策を図っていこうと思います。

○何年くらいかかるのか。

●【企画課長】

早ければ来年、再来年までに完成する予定です。

○駐車場に入る右折レーンを増設すれば、だいぶよいのではないか。

●【企画課長】

交差点間の距離の関係上、増設は難しいと考えています。

○オガールタウンの分譲は誰がして、何年の予定で行うのか。

●【公民連携室長】

分譲の主体は、町が行うこととしています。

宅地を6から8つのブロックに分け、全6回から8回に分けて3カ年で分譲したいと考えています。

○分けて分譲して、価格が変更されるリスクを抱えて大丈夫なのか。

●【公民連携室長】

今後、土地の価格が下がることが予想されますが、区画価値をつくり売却していきたいと考えています。近隣市町村の価格も見ながら検討しています。

○中央保育所の移転候補地がオガール地区なのは、どうしてか。交通量が多く危険なのではないか。

●【福祉課長】

現在の中央保育所の位置が「城山の登り口で朝夕の送迎が危ない」という声があり、保護者の方々と話し合いました。その結果を踏まえ、また、オガール地区の西側に公園が造られる予定であるということから、環境的にもよいと考え、候補地として挙げています。

○交通量の多いこの場所でいいのか。

●【公民連携室長】

子どもたちの安全を考え、保育所の入口の位置を交通量の少ない西側にすることを考えています。

○土地を見ただけでは、どのくらいの広さか分からない。園庭を十分とれるのか。運営形態（認定こども園）はどうなり、どの程度時間がかかるのか。

●【福祉課長】

面積は、現在と変わりません。駐車スペースも、若干広がりますが、園庭が最小限になることから、行事が増えるときはサン・ビレッジ紫波など近隣施設を使わせていただく

ことになります。

なかなか進まないことにつきましては、社会保障行程の大改革という事で27年の消費税にならい、どのような形が望ましいのかを今後検討して決めていきたいです。

=====
○昨年整備していただいた所の南側の整備と、松くい虫を伐採していただきたい。

そしてエネルギーの元になる利用の仕方を、予算の関係もあると思うが、全体を考えたやり方でしてほしい。

●【農林課長】

松くい虫について。給食センターから八掛交差点までの部分が危ないということでしたが、30メートルほど伐採しました。今年は国の予算で、伐採を進めていきたいと考えています。国道396号沿いについては、町で松くい対策、打合せを開いているが、危ないと感じた際には土木課や農林課に話していただきたいと思います。

●【土木課長】

赤沢川の繋側は、時期をみて対応したいと思っています。

○ここまで整備していただいたが、雑木が入ってきて通れない状況。

●【土木課長】

木の所有者とお話ができ、通行に支障がないように切れるのであれば、最初にやっていきたいと思います。

○繋側の整備は、どのように計画しているのか。

●【土木課長】

状態が酷くなったところを何年かに1回、計画的に川の幅を広げる整備をしています。

○川東・川西地区は、少子高齢化の状態である。ずっと中央部に予算が入っているのではないか。長期的にはどのように考えているのか。

●【農林課長】

農業の活性化や、5年、10年後の農家の担い手を育成していこうという事業をしています。どうしたら継続的に活性化していけるかを考えていきたいと思います。

○うちの地区にも運動公園というものがあつたが、ブランコが錆びて大変危険な状態ということで使用禁止になった。遊具がなくなってしまうので、ぜひ残していただきたい。

●【農林課長】

鉄棒は、安全キャップで対応したいと考えております。

ブランコは、予算の要望を把握しながら改良したいと考えています。

○①地域ごとのかたちを作っていく必要があり、自発的な取り組みが大切だと思う。

②フルーツパークについて。駐車場が、廃品の置き場になっているのが当初の話と違うのではないかと。日詰から上がってくる入口に、フルーツパークのイメージが伝わるように（看板設置など）検討してほしい。

③地域の若い人たちが住むような形が大事。

●【福祉課長】

①「自発的な取り組みが大切」であるということについて。震災を経験して、地域の皆さんに、避難誘導も考えていただきたいと思います。予防と備えあれば軽減できるのではないかと思います。

●【農林課長】

②フルーツパークについて。駐車場にあるものは、県内にある倒木や流木で、栽培肥料に使用しています。経費がかからずに置かせていただいているので、ご理解いただきたいです。

●【企画課長】

③町では、赤沢まるごと博物館プロジェクトを支援しています。本年度は補助金も交付しています。職員も含めて、お手伝いできればと思っています。

○農林課長の回答について。フルーツパーク玄関口には、ふさわしくないで置いてほしくない。置き場所はそこしかないのか。

福祉課長の回答について。年寄りも安住できる地域。若い人も何らかの活動をしながら永住したいと思う環境づくりをしていきたいという事を言いたい。

●【農林課長】

もう一度確認していききたいと思います。

●【福祉課長】

お声をいただければ、福祉課でも一緒に考えていきたいと思います。

○学校の通学路について。

歩道の整備が行き届いてないように感じる。住んでいるのはローソンの向かいの下手。

子どもは、中学校にはローソンの裏を通り通学しているが、そこには歩道があり、その先の急カーブには歩道がない。今は自転車通学をしているが、国道396号沿いは歩道があり、安全なので遠回りになるがそちらを通っている。子どもたちのために、ぜひ整備をしていただきたい。

○同じ意見。早急に危険地域として歩道をつけていただきたい。

●【土木課長】

歩道がない部分については、県に要望し続けているところです。ローソンからのカーブと、ローソンの交差点から道の駅の方へ北に行く道路は、道路公安委員と県で対策しなければならぬ道路です。盛岡広域の中で優先順位をつけ、更に町の中でも優先順位をつけて対応されます。町でも、引き続き要望していきたいと思えます。

また、ローソンの信号は現在南側にありますが、北側に位置を変え、25年度に公安委員会が行う予定です。

●【教育長】

危険箇所があるのは認識しています。学校としては身を守るすべを教えることからスタートしました。スクールゾーンについて。地域が中心になって時間的にどうするかという話もでている。登下校には、地域の方々にもお願いしたい。

=====

【町長所見】

・オガールタウンの分譲について

町としては大きなリスクがありますが、土地は町民の財産です。そこに、いかに町民の皆さんが関わり、雇用を創出し、住宅に進化させていくか、ということをしてほしいです。

・なぜ、エコハウスをつくるのかについて

ヒートショックで亡くなる人は、国内で年間約1万7千人といわれています。東北地方でも約5千人いることから、家の中全体を温める住宅、加温をするのは朝晩のみという家をつくりたいと思いました。

・「中央部がうらやましい」ということについて

町は農林公社を3年前につくりました。その結果、後継者が徐々に増えています。農地、人、団が充実しつつある。

・農地開発機構について

放棄地を国が借り上げ、農地として地元の方々に貸す制度が、来年あたりから本格的に稼働されます。農林公社でも放棄地を農地化する取り組みを進めており、県や国に補助金をお願いしています。町からも補助金を交付するなどしており、オガールにだけお金を使っているということはありません。なんとかして農業を活性化していきたいと思っています。

・「地域独自の取り組みが大切である」ということについて。

地区創造会議というものを各地区で実施しています。一生懸命、地域の方々と話し合いながら「自分の地域はこうあればいい」という未来像を掲げて進められるようにしていきたいと思います。

・小学校の統廃合について

昨年、議員から「小学校は統合すべきだ」との強い要望があり、座談会でも話題を取り上げました。しかし、地域から小学校をなくすことは、地域が疲弊していくことにつながると考えております。「地域の拠り所は学校」であるという思いを大事にしながら地域づくりをしていきたいと思っています。

しかし保育所については、早朝や夜の保育の要望が出てきているので、紫波東部は2カ所にまとめていきたいと考えています。

・紫波フルーツパークについて

昨年からは利益が出るようになり、売店の増築やスパークリングワインをつくる施設の建設を予定しています。その工事が終了したら、南口の整備を進めていきたいと思っていますので、若干お時間をいただきたいと思っています。

・人材育成について

小さな町である紫波町が、内閣府から「まちづくりの良さを全国に知らせていただきたい」と言われました。公民連携手法は、国内でまだほとんど前例がない状況であり、これも一つの成果であろうと思います。

・座談会について

今後とも、地域の課題を出し合いながらまちづくりを進めていきたいと思っています。たくさんの方々に立ち会いいただき、感謝を申し上げます。

平成25年度 まちづくり座談会（志和地区）

◎会場 上平沢小学校

◎日時 6月26日（水）午後6時30分～9時

◎参加者 17人

◎役場出席者 17人（町長、教育長、生活部長、経営支援部長、福祉課長、長寿健康課長、環境課長、土木課長、総務課長、企画課長、税務課長、福祉課職員1人、企画課職員5人）

質 疑 応 答

=====

1部：「町からの話題」について

○福祉課の資料の中に「子育てを助ける仕組みがある」とあるが、町にはそのような制度があるのか。他県では、子ども3人以降の家庭には、水道基本料金無料、3人目以降の保育料無料、高校卒業まで医療費無料という制度を採用しているところがある。

●【福祉課長】

保育料については、同時入所の2人目は半額、義務教育中の子どもがいる場合の3人目は無料になる政策を行っています。

●【企画課長】

町では、子育てに関係した水道料金の減免は行っていません。

●【長寿健康課】

子育てを助ける仕組み、子育て方法など、それぞれの時期で子育ての交付案などを提示しています。

○エネルギーステーションは本当にうまくいくのか。財産ではなく借金になるのではないか。また、アカマツを使用するときのコストはどれくらいで、安定供給できるものなのか。

●【環境課長】

オガールエリアの熱供給のあり方は、松くい虫被害木をチップ燃料にして、熱に変えるというものです。木を有効に使うための受け皿として、供給します。

役場庁舎や住宅に熱エネルギーを供給して、重油を使わない方法で進めています。

燃料としてのコストは重油と同じくらいですが、森林資源の有効活用を図ることにより、二酸化炭素（CO₂）の削減や雇用の確保などの効果も期待されます。

○エネルギーステーションでは、どのようにして木質チップをエネルギーに変えるのか。
そして、「ガスが良い」という人は住宅に入れなのか。

●【環境課長】

町内で発生した松くい虫による被害木や間伐材を利用して、木質ボイラーにより熱エネルギーをつくり、オガールエリア内の役場新庁舎や住宅などに熱エネルギーを供給します。

熱源については、強制ではないですが、省エネルギーに理解いただける人に入っていただけるよう、これからPRしていきたいと思います。

○住宅の坪単価はどのくらいで、建築条件はあるのか。

●【環境課長】

エコハウスということで、ある程度条件があります。「省エネルギーの建物であること」「再生可能エネルギーを使えること」「木造であること」などです。

(休憩)

=====
●【環境課長】

先ほどの補足です。57区画の住宅を、一方的に建てるというわけではありません。

1期あたり6区画くらいずつ分譲し、なるべくエネルギーを使わず、年間300リットルの灯油で過ごすことができるような家の分譲を目指しています。

●【経営支援部長】

エコハウスの「紫波基準」を現在検討中です。

内容としては、

- ・断熱効果の高いエコ住宅を建てていただく
- ・エネルギーステーションからのエネルギーを使っただけの人
- ・地元の工務店さんをご利用いただける人
- ・町産材利用に賛同していただける人

などで、こういった考えに同調できる方々にいらしていただきたいと考えています。

また、景観についても、庭や庭木など、町である程度の基準や、住宅のモデルケースづくりも考えています。

価格については、近隣市町村の分譲価格を見ながら、中央駅前の利便性なども考えて検討していきます。

○再生エネルギーという点は良いと思うが、“山の間伐”と合わせて考えると採算が合わな

いのではないか。

●【環境課長】

林道の整備も進めており、「山に手がかからない」ではなく、「手をかけていかなければならない」ような政策をしていきたいと考えている。

○間伐後はすごくきれいだが、油のほうが高くつくのではないか。

●【環境課長】

油を輸入しないで今ある山の資源を使う、町内でお金を循環する、というような「循環型まちづくり」の仕組みをつくっていきたいです。

○①座談会の出席率が悪い。地域に沿った話題で実施してはどうか。

②行政区長制度の廃止または改定をし、自治会組織を変えていただきたい。

③少子化対策を地道な努力で解決してほしい。志和のまちは、学校・警察・消防などがあり、とても良い環境。住宅の建てやすい規制緩和などを考えていってはどうか。

●【経営支援部長】

②行政区長制度については、見直すところは見直すべきだと思います。昔からつながってきた地域もあれば新しい地域もあるので、そこも踏まえて持ち帰らせていただきたいです。

①また、座談会のテーマについては、町内で共通するような話題をご案内していましたが、身近さを感じないとのこと指摘もあり、その在り方を考えていきたいと思っています。

●【生活部長】

③町は、それぞれの分野で少子化対策に努力しているが、複雑な要因がからみ合っている問題であることから、総合的な環境を整えられるように、これからも皆さんのご意見を伺いながら進めていきたいと思っています。

○①役場と社会福祉協議会を近くにもってこられないか。②道路拡張について。高田関口線拡張の要望書を出して議会は通ったが、優先順位があると聞いた。接触事故も起きていることから、用地はあるので子どもたちのために早急な対応をお願いしたい。③高齢者の独り暮らしについて。消防や病院にボタン1つで連絡できるシステムを考えていただきたい。(有線を使った緊急装置など)④座談会の案内は、行政区長・部落3役・農家3役にも案内を出すべきではないか。

●【福祉課長】

「社会福祉協議会をオガールプラザに」という声は多いが、移転は厳しい状況です。昭和59年に2億5千万円の経費で建設したもので、耐用年数がまだ半分残っています。福祉課や各担当課でカバーしながら、どうしても移転しなければならない時がくるまでは、出向いていただきたいと思います。

●【土木課長】

②ご指摘の高田関口線については、通学路の点検の際にも歩道の整備の要望が出ているので、総合的な計画の中で早めに着手したいと考えています。通学路という観点では、現在は赤石小学校周辺の整備を実施しているところです。

●【教育長】

②学校での指導としては、子どもたちの命を最優先に考え、自分の身を守ることにについて指導してもらっています。また、スクールゾーンの導入も検討しているところです。

●【長寿健康課長】

③高齢者世帯の対策としては、N T Tの回線を使って警備会社と連絡を取るシステムを構築しています。何かあれば、警備会社→商工会→救急と連絡が伝わるシステムです。

また、今年の4月に高齢者見守りネットワークを立ち上げました。普段の生活の中で異常に気付いたら、地域の方々から一報を入れていただき、高齢者を見守っていこうという仕組みです。異常に気付いた際には、保健センターにご一報をお願いします。

○①県道紫波インター線の側溝が気になる。②民生委員の決め方について。誰が推薦されているのか分からないので区長と情報の共有をしてほしい。

●【土木課長】

①県道については、町で連絡を受けた際、現地を確認した上で、状況と写真を広域振興局に報告しています。今後気になる場所がありましたら、町に連絡をお願いします。

●【福祉課長】

②民生委員の決定は、町から県、そして厚労省の順で審査が進められます。地域の皆さんには、厚労省から決定の連絡が来てからお伝えすることになります。

=====
【町長所見】

・エネルギーステーションに疑問があることについて

エネルギーステーションは、民間企業が運営します。町としては、ガスの料金よりも安くしたいと考えています。そして、大きな違いは、そこで雇用を生み出すということにあります。

・少子化問題について

少子化傾向は全国的なものであり、町内でも日詰・赤石・古館地区は増加していますが、東西部は減少しています。減少人数分を転入者でまかなわず、限りある中で解決していかなければならないと思います。

解決法の一つとして農林業があります。農林公社を立ち上げてから、徐々に成果が出てきています。耕作放棄地を少なくし、農家の育成を図っていければと思っています。

また昨年、小学校の統廃合についての話題を出しましたが、「地域に学校がなければ地域は疲弊していく」と考えており、現状では統廃合の必要はないと考えています。

子育て支援も、オガールプラザで実施しています。駅前で安心して子どもを預けられる応援センターをつくりました。中央部を中心として、東部・西部に広がるまちづくりを進め、ますます発展させていきたいと思っています。

平成25年度 まちづくり座談会（長岡地区）

◎会場 長岡公民館

◎日時 6月27日（木）午後6時30分～9時

◎参加者 8人

◎役場出席者 13人（町長、経営支援部長、教育部長、町民課長、福祉課長、農林課長、土木課長、企画課長、福祉課職員1人、企画課職員4人）

質 疑 応 答

=====

1部：「町からの話題」について

○「しあわせづくり福祉プラン」は、福祉分野だけの話で、今の社会問題について、農業や水についてなどの横のつながりについては何か考えがあるのか。

●【福祉課長】

このプランは、福祉分野の各計画を支える計画です。行政などでの縦のつながりでは行き届かないところもあるので横のつながりでカバーしてほしい、つながりをもう一度確認してほしい、という呼びかけも込められています。

●【農林課長】

「しあわせづくり福祉プラン」は福祉分野を横につなげる計画です。農業や水、地域づくりについての計画ではありません。

○地域としては、総合的な計画を考えてほしい。一部だけを取り上げられても、受け取る側は分からない。

○地域づくり補助金について詳しく教えてほしい。

●【企画課長】

まちづくり関係や、公益的な事業を始めたいという時にもらえる補助金であり、福祉分野でも活用可能です。審査会で補助金の交付対象となれば、概ね活動3年目までの1回目は10万円、それ以外の場合は30万円を上限に補助を交付します。

○活動を継続しているのに対象外なのは、矛盾を感じる。

●【企画課長】

多くの団体がもらえるよう、予算の関係で申請要件を決めています。新たに事業を始めたいという時は、民間の助成もあるので相談していただきたいです。

(休憩)

=====
○（農村公園の管理委託料に含まれている）傷害保険料の値上がりについて。人数を減らし対応しているが大変。保険料をなんとかしてほしい。

●【農林課長】

他にも値上がりしているものがありましたので、何らかの対応をしたいと考えています。

○農村公園について。本来の使われ方がされていないのでは。

●【農林課長】

トイレ清掃や草刈りなどを地域のご協力をいただいています。看板の修理や、洗車している車がいたときなどは、町で対応してきました。町でも、できる範囲で適切な使用がされるように努めていこうと考えています。

○水路管理を検討してほしい。ボランティア制度はないのか。

●【農林課長】

水路は、現地確認し対応していきます。ボランティア制度は、「まちピカ応援団」という制度があるので、ご検討をお願いします。

○横沢川の補修をしてほしい。

●【土木課長】

現地を確認してから、対応、ご報告したいと思います。

○①活動補助金について。今年新しく増えたものの内容を知りたい。②福祉プランの団体は、補助金の対象になるか。

●【企画課長】

①協働のまちづくりを広める活動を一緒にすすめていく団体を募集しています。そのため
の経費を、今回補助金の枠として設けました。

●【福祉課長】

②活動が始まっているものも対象になります。吉水地区の事例は、老人クラブ関係の補助
金を活用して活動しています。

○①農村公園をイベントなどにも活用できるのではないか。

②マツクイムシ被害に遭っていない木も伐採し、ストックしてはどうか。

●【企画課長】

①イベントなどの開催要望があった際には、ご紹介したいと思います。

●【農林課長】

②被害拡大防止のためにも、周囲を伐採し、活用できるものは活用していきたいと思います。

○草刈りについて。地域が行う時期と国道での草刈の時期を合わせて行ってほしい。

●【土木課長】

県にお伝えします。

○町のホームページについて。基本的な管理・運営の考え方はどうなのか。

●【企画課長】

各課が管理・更新を随時行い、一般の人からの情報更新は企画課長が管理していますホームページは、町民参加型の「ポータル紫波」と、各課で入力・更新する「紫波町役場.jp」があります。現在システムの改善中です。

○ホームページが2つあるのは、分かりにくい。役場のホームページをメインにしたほうがよいのではないか。また、各課からの情報が少ない。特に教育委員会のホームページ。

●【企画課長】

システムの変更を行い双方とも同じようなデザインに変更しました。当面は、この方法で進めますが、画面入力しやすくするなどして改善していきたいと思います。

○農村公園を利用する際の窓口が、長岡公民館と農林課だが、その関係はどのようになっているのか。また、利用の予約の必要性もあるのではないか。

●【農林課長】

公園の利用は、「早いもの勝ち」ではなく、地元による利用を優先したいと考えています。また、利用届の受け付けは、地域の利便性を考えて公民館にお願いしています。しかし、利用調整などの判断は、今後も農林課で対応したいと思います。利用マナーについての空位の呼びかけ（チラシ・ホームページ掲載）も検討していきます。

○学校統廃合について、現在の町の考えお聞きしたい。

●【教育部長】

中央部以外の児童数は、これから減少していくと予想されます。今までどおり、当面の統廃合は考えていませんが、将来的に統廃合が必要となった時には、検討しなければならないと考えています。

=====
【町長所見】

・地域活動補助金のあり方について

それなりの成果があり、定着しつつあります。地域での取り組みをサポートし、今後のあり方は課題として、来年以降も進めていきたいと思っています。

・保険料について

地域と一緒に考えていこうと思います。

・農村公園

草刈り、水路、ボランティアのあり方、農村公園の整備は今後の課題とします。

・ホームページについて

現在の更新を早く進めたいと思っています。

・小学校の統廃合

それぞれの文化、歴史を残し、伝えながら学校を中心に地域づくりをしていきたいです。

・人口について

現在、転出より転入のほうが増加しているが、自然減が最も多い状態です。

人口の維持や増加は町の活性化につながります。住宅分譲などでも進めていきたいと思っています。

平成25年度 まちづくり座談会（佐比内地区）

◎会場 佐比内公民館

◎日時 6月28日（金）午後6時30分～9時

◎参加者 19人

◎役場出席者 14人（町長、教育長、生活部長、建設部長、福祉課長、企画課長、学務課長、農林課職員1人、福祉課職員1人、企画課職員5人）

質 疑 応 答

=====

1部：「町からの話題」について

○図書館の本は、今後どのくらいのペースで増やすのか。

提案だが、古本でもいいので在庫を増やしてほしい。町民の寄付は、古本市で無料で配るなどしてはどうか。また、開館時刻を早くしてほしい。

●【企画課長】

現在、蔵書は7万冊ありますが、年間300万円から500万円の予算で、10年間かけて増やしたいと考えています。本のリクエストも受け付けているので、利用していただきたいと思います。

また、寄付は新しい本を中心に受け付けていますが、古本については受け付けていません。図書の装備（ICタグなど）やさまざまな課題もありますので図書館と相談し、検討したいと思います。開館時刻も、周辺環境とのバランスを考えて検討します。

（休憩）

=====

○産直「紫波マルシェ」の当初の目的はどういう目的だったのか。農家での評判をどう考えているのか。農家出荷を増やす工夫はしているのか。

●【企画課 公民連携室長】

「オール紫波」を目指した計画をもとに進めてきました。1年前に比べて生産者は減りましたが、出荷量、売上、来客数は増えている状況です。

また、懇談の要望があった地域とは、懇談を重ねて進めてきましたが、他の地域は把握していませんでした。

農家を育てていくことについては、農林公社と連携して取り組んでいるところです。

●【企画課長】

産直紫波マルシェには町からの補助金が出ていないので、他の売り上げでも含めて施設を維持し農産物の販売場所を支えるかたちとなっているようです。

○ブロードバンド化はいつになるのか。

●【企画課長】

町の95%に光ネットワークが入っており、残りの5%が佐比内と彦部の一部です。町としても要望していきたいと思っているので、もうしばらくお待ちいただきたい。

○①町道の整備について。舗装計画を教えてください。(かもめだつつみ線)

②堤の湧水について。水路未整備のため、漏水の可能性はある。検討していただきたい。

●【建設部長】

①整備については、持ち帰らせていただきたいです。

②湧水については、改良区などを確認しながら対策を考えていこうと思います。

○現在、保育所統合はどうなっているのか。

●【福祉課長】

平成27年から、子育て支援法に基づいての子育て事業が展開される予定です。国からの詳細が決まり次第、地域にも説明していきたいと思います。

○ハクビシンの農作物被害について。ハクビシンは頭数が増えているので、捕獲をしたい。勉強会も行うので町からも出席していただきたい。また、捕獲した後の問題や、冬のすみかとして使われる空き家の対策なども話し合いたい。

●【農林課 農政企画室長】

ハクビシン被害の増加は、暖冬により、越冬する頭数が増えたことなどが原因です。これまでの鳥獣による町の総被害額は、年間460万円ほど。町には被害を防止するための補助金制度や、捕獲隊の対策があります。勉強会を開催する際には、随時お声掛けいただければと思います。

○自転車ロードレースコース会場の駐車場の整備にあたって、大雨の際に、田んぼが冠水しないように配慮をお願いしたい。

●【教育長】

調整池を造ることにしています。今後、要望を踏まえて整備をしていきます。また、国体に向けての準備を、地域の皆さんのご協力をいただきながら進めていきます。

=====

【町長所見】

・図書館について

町民の皆さんからもご提供いただいて蔵書をするべきと考えます。他の図書館との流通もできるようになっているのでご活用ください。

・産直「紫波マルシェ」について

「紫波マルシェ」には、普及と研修をやっていただきたいと考えています。高齢化から、集荷の行い方も考えていかなければならないと思っています。

・光ファイバーについて

整備率が95%から100%になるよう、要望していこうと思います。

・鴨目田堤について

整備を課題にしていきたいと思います。

・保育所の統廃合について

東部地区の保育所統合は必要と考えています。保育所と児童館との利用料の差をどうするかは課題です。保護者の皆さんから意見を聞き、何方所にするかを決めていきたいです。

・鳥獣被害対策について

ハクビシン、シカ、クマの被害防止は、広域で対策できるようになっています。できるだけ多くの方々と一緒になって問題を解決していきたいと思います。

・ロードレースコースについて

地元にはご迷惑をかけますが、全国規模のレースを誘致していきたいと考えています。駐車場につきましては、レースのないときは、地元に開放してイベントなどに使用してほしいと思います。

平成25年度 まちづくり座談会（彦部地区）

◎会場 彦部公民館

◎日時 6月29日（土）午前10時～正午

◎参加者 10人

◎役場出席者 16人（町長、教育長、産業部長、経営支援部長、福祉課長、土木課長、下水道課長、企画課長、福祉課職員2人、企画課職員6人）

質 疑 応 答

=====

1部：「町からの話題」について

○紫波中央駅の乗降者数を教えてほしい。

●【企画課長】

今年の調査結果は、中央駅2896人、古館駅1481人、日詰駅858人となっており、昨年に比べると若干数値が下がっています。

○役場・保健センター跡地について、何か活用を検討しているのか。

●【企画課長】

保健センターの跡地には町営住宅、役場跡地には消防署、という案が出ています。

また、日詰地区で町民有志の話合いが進められているようです。そちらも踏まえながら、町としても調査・検討していこうと思います。

○①オガールエリアは、コンパクトすぎるのではないか。駐車場は足りるのか。

②民間バスを、中央駅で乗降できるよう要望してほしい。

③中央駅東口通路については、どうなっているのか。

●【公民連携室長】

①駐車場は現在、オガールプラザに86台分、パークアンドライドに290台分あり、役場庁舎には132台分設置されます。今後、紫波中央駅東側にもパークアンドライドとして100台分を整備することとしています。

●【企画課長】

③東口については、JRに要望中ですが、安全面を考えると難しいようです。そのほかにも、紫波中央駅のバリアフリー化についても働きかけています。

②バスの運行については、商店街とのバランスを考えながら検討していきたいです。

《休憩》

=====
○空き家対策について、条例などで対応できないか。

●【土木課長】

空き家については、「都市計画マスタープラン」の中で少しふれています。

平成15年から20年までの空き家率は1%増加しており、今後、更に増加するのではないかと考えられますので、持ち帰って担当課にお伝えします。

●【経営支援部長】

今のところ、持ち主に許可をとり、適正な管理をしていただく方法以外に方策がありません。地域によっては周りの方々が取り組んでいる例もあります。住宅の持ち主が分からない場合には、総務課に連絡をしてほしい。

○役場庁舎移転後の中央公民館を、展示スペースなどとして活用できないか。小中学生の作品展示や小さなコンサートなどを気軽に行えるようにしてほしい。

●【教育部長】

中央公民館の利用者数は、年間4万5千人で増加傾向にあります。耐震工事を行い、庁舎移転後には、展示スペースとしての活用も予定しています。皆さんと話し合いながら進めていきたいと思っています。

○庁舎完成後、オガールの駐車場に入る入口は、西側にもできないのか。

●【公民連携室長】

現状どおりで進めていこうと思いますが、全体計画の中で考えていきたいと思っています。

○給食センターの食材供給組合は、存続できるのか。

●現在システム調整中です。出荷できないことがないようにしたいと思います。

○①城山公園は、紫波固有の名称検討してみてはどうか。

②気象観測地点が寒い地点にあり、イメージダウンが心配。移動できないものか。

●【産業部長】

①都市計画との関係もありますが、誰でも分かる名称を検討したいと思います。

●【企画課長】

②气象台に確認したこともあります。移動は難しいとのこと。

○認知症対策について。町で、早めの対応を実施してはいかがでしょうか。

●【福祉課長】

以前、65歳以上の人には、問診式の認知症チェックを行っていました。

認知症の兆候があったら、少しでも早く包括支援センターに相談していただきたいと思っています。

=====
【町長所見】

・オガールエリアについて

オガール地区が一段落したら、日詰商店街の活性化に注力したいと思っています。中央駅前乗降客も次回は3千人を超えるのではないかと思います。今後も調査していきたいです。

・役場庁舎跡地について

役場庁舎跡地の利用については、地元の意見を聞きながら進めていきたいと思っています。本庁舎のリノベーションも検討しています。

・駐車場について

景観を重視して考えて、裏を駐車場にしています。手段を検討しながら進めてまいります。

・空き家対策について

今後の検討課題にしていきたいです。

・中央公民館の活用について

中央公民館は、耐震工事を行ってから、今後の課題としたいと思います。遺跡調査結果の展示や、子どもの作品展示も検討したいです。

・学校給食については

速やかに対応していきたいと思っています。

・城山名称について

歴史をふまえて、慎重に検討していきたいと思っています。

- ・気温観測地点の移設について
町費でも検討したいです。

- ・認知症について
検査は必要だと思いますので、早めの対策として検討したいと思います。

- ・彦部地区について
当地区には、給食センター、火葬場、あらえびす記念館などがあります。今後ともよろしくをお願いします。

平成25年度 まちづくり座談会（赤石地区）

◎会場 赤石公民館

◎日時 6月29日（土）午後1時30分～4時

◎参加者 11人

◎役場出席者 16人(町長、教育長、産業部長、建設部長、福祉課長、長寿健康課長、都市計画課長、総務課長、企画課長、学務課長、生涯学習課長、福祉課職員1人、企画課職員5人)

質 疑 応 答

=====

1部：「町からの話題」について

○①オガール地区の西側の土地を利用する予定はあるか。

②道路の年次的な補修計画というものはあるのか。

③人口減少への対策はどのように考えているか。

●【都市計画課長】

①現在、都市計画マスタープランの見直しをしているところですが、将来人口が減る見込みであり、用途地域内にもまだ空き地がある事から、現段階で用途地域を広げることは決断しにくいと考えています。

●【産業部長】

①農振の解除は難しいが、5年という時間を利用して、下地作りを進めていきたいです。

●【建設部長】

②全町を網羅した道路補修計画というものはありません。請願陳情路線についても未着手の部分があるのが現状です。現在は、安全安心な子どもたちの通学路の確保に力を入れており、今後は、他の路線についても財源などとすり合わせながら進めていきます。

●【企画課長】

③昨年の統計では、転出より転入の人数が上回っています。少子化の影響で人口は減少していくと思いますが、町として、人口維持に努めたいと考えています。

《休憩》

=====

○しあわせづくり福祉プランについて。

①自主防災組織の現状を教えてほしい。

②アパートに回覧板が回っていない。地域にとけこめていないのではないかと。

③若い親御さんへの教育

●【総務課長】

- ①行政区は130区ありますが、組織率は全体の40%です。今後、さらに体制を整えようとしています。
- ②回覧板につきましては、アパート専用の回覧板で対応しているところもあります。相談などありましたら、総務課までご連絡ください。

●【福祉課長】

- ③民生委員さんを通じて、福祉課に相談していただきたいです。

●【教育長】

- ③地域でのコミュニケーション不足。教育振興運動などですすめたいと思います。
-

○通学路の補修をお願いしたい。

●【土木課長】

場所を確認後、対応したいと思います。

○桜を守るため、五郎沼の堤防を広げる整備をお願いしたい。

●【産業部長】

農業用整備から見て、堤防を広げるのは必要だと思います。
本年度から対応してまいります。

○・踏切の段差を補修していただき感謝したい。

・日詰駅南側の踏切付近歩道、ガードレールでの安全整備、下水道の排水路整備、道路の舗装などをお願いしたい。

●【土木課長】

駅付近の歩道について。現地を確認後JRと協議し、速やかに対応したいと思います。
浄化槽の放流については、放流先の側溝は改良が必要であります。現地確認後、対応できる場合は対応していこうと考えています。
道路舗装は、順次再舗装を進めていきたいと思っています。

○①まちづくりの機会を年間通じてもっと設けられないか。「まちづくりは、人づくり」。

②図書館について。一般書籍の系統的な収集は計画されているのか。

③行政における和製英語の使用は慎重になるべき。日本語を大事にしてほしい。

「オガール」「しわっせ」「紫あ波せ」など

●【企画課長】

①「まちづくりは、人づくり」そのとおりだと思います。人と人のつながりを土台として、共通の思いから市民の活動が生まれると考えています。当面は様々な交流の場をつくる必要と思っています。「まちづくり」のさまざまな相談については、企画課協働支援室、市民活動支援センターを、ご利用ください。

●【生涯学習課長】

①公民館は一つの地域づくりの拠点です。地域の方々が様々な活動を行い、地域づくりすることが重要だと考えています。

●【企画課長】

②10年計画で蔵書整備を考えています。近隣図書館との連携も考えながら、収集していきたいです。旧図書室の本も、整い次第貸し出す予定です。

③名前については、若い人に親しんでもらえるように、「愛称」として使用しています。また、日本語の使い方は大切にしていきたいと思っています。

○①日詰駅のトイレが外側から利用できないため、滝浦商店に借りる人が多い。相談する部署がないので一緒になって考えてくれる部署がほしい。思いやりをもった対応をお願いしたい。

②日詰駅前ロータリーの広い歩道を、イベントやちょっとした休み場として開放できないか。

●【企画課長】

①トイレについては、企画課・都市計画課でJRに伝えたいです。

②企画課が公聴の係なので、何かあった時は言っていただきたい。また、分野が分かる場合は、担当課にお願いしたいです。

●【都市計画課長】

道路や歩道空間のイベントなどへの活用は、全国でもまだ、さまざまな実験がなされている段階ですが、地域活性化のための課題として検討していきます。

○①こどもの家について。子育て費用の負担を軽減できないか。放課後学校を開放してもよいのでは。

②税金の徴収について。未納者への対応をもっと行ってもよいのではないか。

③座談会のあり方を工夫していただきたい。子育て世代が参加するように。

④北日詰、朝日田線の両側に歩道をつけなくてもよいのでは。

⑤宅地開発について。55坪～70坪以上など、基準を設けてみては。

●【福祉課長】

①こどもの家の利用は、原則3年生までとしています。

こどもの家の運営は、町直営と地域委託があります。

●【企画課長】

②税金滞納分は、平成23年度が4380万円、H24年度が3678万円と10%ほど改善されています。

③座談会のあり方については、来年に向けてアイデア検討していこうと思います。

●【土木課長】

④歩道の整備は、道路の交通量や道路の幅に基準があって決まります。ご意見を参考に検討していきたいと思います。

⑤宅地開発については、建築基準法で200㎡以上の制限を設けてはいけなと決められています。

○①紫波町では、少子高齢化対策は行われているのか。

②教育委員はどのようなことをしているのか。

③川東地区の学統廃合校を、どう考えているのか。

④新公会計制度について聞きたい。

⑤民生委員の年齢制限は、なくてもよいのでは。

●【福祉課長】

①子育て政策については、国の方針を合わせて考えていきたいと考えています。

⑤民生委員は、原則65歳までとしています。健康状態を確認して、多少のオーバーを認める場合があります。

●【教育長】

②教育委員長には、教育施策のチェック、予算執行にご意見をいただいています。

学校の統廃合については、当面は現状維持をしたいと思っています。10～20年後を見据え、随時考えていきたいです。

●【企画課長】

④新公会計制度では、町が所有する土地や建物についての評価が必要です。現在は、この作業を行っています。国が示す基準に基づき、制度導入を進めているところです。

=====
【町長所見】

・下水道について

下水道の集合処理は見送りし、町管理型の合併浄化槽式に移行しました。

土側溝については、町で切り替えていこうと思います。

・まちづくりについて

まちづくりがうまくいけば、人口も増えていきます。若い人でも積極的に参加している人がいます。

地域の方々の声は大事であり、町の発展の基礎となると考えています。今後ともまちづくりにご協力をお願いいたします。

平成25年度 まちづくり座談会（古館地区）

◎会場 古館公民館

◎日時 6月30日（日）午前9時30分～正午

◎参加者 31人

◎役場出席者 19人（町長、教育長、福祉課長、環境課長、都市計画課長、下水道課長、水道事業所長、総務課長、企画課長、商工労政室長、農業委員会事務局長、福祉課職員2人、企画課職員6人）

質 疑 応 答

=====

1部：「町からの話題」について

○①中央駅前に多目的ホールがほしい。

②ふれあいホールと旧館の連絡通路がなく、不便を感じる。

③古館駅前周辺から矢巾町につながる道路の整備について。

●【教育長】

①活用施設としては、新庁舎移転後の中央公民館が選択肢としてあります。耐震化した後、既存のものの活用も考えていきたいと思えます。

②古館ふれあいホールの問題点については、十分認識しています。対応を進められるようにしたいです。

●【企画課長】

①ホールにかかる維持管理コストをふまえた議論が必要だと考えています。

●【都市計画課長】

③国道4号に出ることなく、県道日詰駅停車場線から日詰を通り、県道古館停車場線まで行き来できる幹線道路が必要と考えています。矢巾町への接続道路については、この計画と合わせて慎重に検討していきたいと思えます。

《休憩》

=====

○①オガールと新庁舎、日詰商店街の関連付けについて。

②情報交流館のスタジオ使用料は誰でも一緒か。

③分譲の詳細、エネルギーステーションの利用について

●【企画課長】

①中央駅前開発としての統一した看板は、全ての施設の整備終了後に設置する予定です。

②スタジオ使用料は、どなたでも規定の料金でご利用いただけます。

③分譲の詳細については、周囲の環境や状況を見ながら決定します。エネルギーステーションの利用については、検討中です。

○オガールベースについて。オガールアリーナは、なぜバレーボール専用体育館なのか。多目的な使用はできるのか。

●【企画課長】

民間が設置する場合、このような専用施設である方が、より利用されやすいという特徴があります。町としても、民間施設であることを踏まえながら、さまざまな利用の可能性について提案していきます。

○しあわせづくり福祉プランについて。古館地区は、地域のつながりがない地区。行政区长、民生委員の方々が苦勞している。町内会機能を利用してはどうか。

●【総務課長】

行政と地域をつなぐ役割は、さまざまな形があるかと思います。地域ごとに検討していく必要があると考えています。

○町内会の有無ではなく、普段からのつながりが大事なのでは。

●【企画課長】

自治会調査（リスト化）は、以前にも行っていますが、さまざまなかたちで自治会等が存在しているので、整理が必要です。今後、改めて調査し、分かりやすいかたちに整理したいと思います。

○しあわせづくり福祉プランを、もっと具体的な活動・手法で示してはどうか。

●【福祉課長】

独居高齢者対策としては、包括支援センターや社会福祉協議会と連携しながら進めている部分です。これらの連携に入りきれない細かな福祉の観点も、今回の幸せづくり福祉プランに含まれています。

○役場新庁舎の災害対策はどうなっているか。

●【総務課長】

新庁舎は木造が3分の2、鉄筋が3分の1であり、耐火・防火対策も行っています。また、災害対策本部がすぐに立ち上げられるように、総務課と町長室をすぐそばに設置する計画です。また、自家発電機も設置予定です。

○①通学路の危険箇所への対処をお願いしたい。通学路の指定は誰が行っているのか。共同園芸さんのあたりのカーブが危ない。30キロなどの速度規制をしてはどうか。除雪対策もお願いしたい。細かい部分を見てほしい。

○②庁舎の駐車場スペースはどのくらいか。

③新庁舎のトイレは、入りやすいバリアフリーのものにしてほしい。

④観光交流協会の運営について、町の指導をちゃんとしてほしい。

⑤JR 立体交差部に、高さ制限の道路標識があった方が良いのではないか。

●【総務課長】

①通学路の指定は、学校と教育委員会で行っています。

②オガールの駐車場については、庁舎北側に132台分（50台は公用車）あり、イベント時には、公用車を移動することで対応したいと思っています。駐車場スペースについては、エリア全体で増やしていこうと考えています。

③庁舎のトイレは、1階から3階まで同じ場所に設計しており、体の不自由な方々への対応を検討しているところです。

【補足回答】

新庁舎1階エントランスには、住民票の自動交付機も設置され、土・日・祝日でも、午前8時から午後8時まで使用することができます。併せてトイレの使用も可能になります。

●【商工労政室長】

④観光交流協会の運営については、持ち帰り改善検討を考えます。

●【都市計画課長】

⑤高さ制限の道路標識については、JRなどと協議して対応していきたいと思います。オガールの表示看板と一緒に検討・対策していきます。

○地域の見守り・見回り体制についての報告。

うちの地区に町内会はないが、福祉ネットワークや自治公民館、区長、民生委員でその活動を補っています。

●【福祉課長】

緊急時には、役場にご連絡ください。夜間でもガードマン、休日は日直がおり、担当につながるようになっています。

=====

【町長所見】

- ・ 地域福祉について

これからは高齢化社会に対応できる組織作りを行っていかねばならないと思います。
区や自治会のあり方を検討していきたいです。

- ・ オガールベースについて

体育館のほかに、バレーボールアカデミーを設立するという提案がありました。
スポーツによる人材育成をしていきたいと思います。

- ・ 新庁舎について

安全対策、訓練を大事にしていき、安全、安心のまちづくりを心がけてまいります。

- ・ 交通安全について

今後も進めていきたいです。

- ・ 高さ制限の道路標識について

3. 8メートル以上の高さがある場合は、表示しなくてもよいことになっています。

- ・ 観光交流協会について

対応を検討していきたいと思います。

平成25年度 まちづくり座談会（日詰地区）

◎会場 商工会館

◎日時 7月6日（木）午後9時30分～正午

◎参加者 28人

◎役場出席者 18人(町長、教育長、生活部長、産業部長、経営支援部長、町民課長、福祉課長、土木課長、都市計画課長、総務課長、企画課長、生涯学習課長、福祉課職員1人、企画課職員5人)

質 疑 応 答

=====

1部：「町からの話題」について

○保育所移転候補地に、保育所と高齢者施設が一緒になった施設はできないか。

●【生活部長】

上平沢地区では、放課後の子どもたちが高齢者と交流している例もあります。お年寄り
と子供が過ごすことは大切なので、検討させていただきたいと思います。

○①オガールプラザ駐車場の改善は何か考えているのか。

②オガールタウンの家の配色に決まりはあるのか。

●【公民連携室長】

①駐車場については、オガールプラザに86台、オガールベースに2か所、役場庁舎に130台、エネルギーステーションにも設置を予定しています。紫波中央駅の東側にも100台を予定しており、エリア全体で計1000台になるので、役場庁舎完成後には、混雑が徐々に解消されていくのではないかと予想しています。

②オガールタウンの配色指定はしていませんが、デザインガイドラインでは「伝統色」でとアピールしていきたいと思っています。

○オガールプラザの施設のトイレを使いやすくしてほしい。

●【公民連携室長】

現在はオガールプラザのみだが、今後、施設が4棟できるので、そちらもご利用いただきたい
と思います。また、新庁舎での土日のトイレ利用が可能になります。

《休憩》

=====

○紫波町の高齢者施設を集約できないか。施設の有効活用をしてほしい。

●【福祉課長】

保育所移転候補地は、基準が決められており、スペースも限られています。
今後、関係する事業と協議していたいと思います。

○子育て応援センター「しわっせ」について。3年前のワークショップは活かされていないのではないか。今後の「しわっせ」今後の在り方について、どのように考えているのか。

全ての地域の方々が参加できる、というワークショップの際の話はどこに消えてしまったのか。教えてほしい。

●【福祉課長】

現在「しわっせ」は、日詰こどもの家、一時預かりなどの事業を行い、子育て世代の集まれる場として活動しています。その中の事業で、親子広場では、祖父母の参加もあります。

○それでも、自分のお子さんがいないと参加できないのが現状ですよ。

●【町民課長】

「しわっせ」は、使っている人たちが育てていく施設であると認識しています。
決して、地域の人は入館できないというわけではありません。

○それは周知されていますか。

●【町民課長】

ソフト事業の中で、繰り返しやっていかなければならないことだと考えています。
今後、工夫しながら行っていきたいと思います。

○いろいろなNPOや子育てを行う人たちで話し合いする機会もあったが、指定管理などの話もまだないのか。

●【福祉課長】

子育て支援広場には、たくさんの子育て支援グループが関わっていただいています。
運営については、当面の間は直営でいきたいと思っています。

○①松くい虫の被害状況について教えてほしい。伐採のコストはどのくらいか。

②佐比内地区の太陽光発電は、進んでいるのか。

●【産業部長】

①松くい虫被害は、滝沢村まで進んでいます。健全なマツの早期理王を、伐倒駆除と合わせて進めていきます。

マツを1トン当たり4000円で購入し、搬出費の一部にしたいと考えています。町民有志で間伐材を運び出す「間伐材運び隊」を活用しながら、整備を進めていきます。

②佐比内地区の太陽光発電については、地権者1人と交渉中であります。東北電力との調整も必要であるということです。

○①町民の生活実態調査は、どうなっているのか。年金引き下げなどによるデイサービスの利用減や、医療費の自己負担増などがある。

②3. 1 1の際、地元支援に注意されたことについて。

③プライバシー権によるサービス低下について。規制が地域の連携を止めている。

④商店街の空き店舗活用に対する補助や支援の検討をお願いしたい。

●【福祉課長】

①③実態調査は、セーフティネットがあります。福祉プランは、各計画を支える意識づくりとしての計画です。

また、要支援者名簿なども、今後地域をお願いしたいと考えている（最低限の情報で）。横のつながりが負担にならないようにするのが大切だと考えています。

●【総務課長】

②地元支援は大切なことだと考えています。3. 1 1の際に違った判断をお話していたなら申し訳なかったと思います。その後は、自主防災を進めている状況です。

●【産業部長】

④空き店舗の活用が進まない原因として、住居を店として使用していたため、店舗のみの活用が難しいことが挙げられます。助成については、国の情報を見ながら進めていきたいと考えています。

○日詰小学校の西校舎トイレの全面改修をお願いしたい。

●【教育長】

十分承知しているところです。

○共同墓地の造成を町でも考えていただきたい。

●【産業部長】

墓地の整備拡充や公葬地の状況を考慮すると、不足はしていないと認識しています。現

状では、行政による整備は難しいと考えています。

○災害ボランティア受入窓口の体制はどのようになっているのか。

●【総務課長】

課ごとで分担割当しています。総務課防災室が長期支援窓口になっているので、ご連絡ください。

○子どもの安全のために、街路灯の増設をお願いしたい。

●【土木課長】

交差点の街路灯については、町で設置しています。また、防犯のための設置は、地元住民でお願いしたいと考えています。維持管理費が年3万円以上かかる場合は、半分を町で負担しますので、ご相談ください。

○雇用促進住宅の廃止について。現在凍結中だが、平成33年には廃止が決定されている。

町から存続要望できないか。

●【産業部長】

住民の声を形にしていくのも一つの方法だと考えています。町で買ってほしいとの話もきているので、事業団には売る側での整備をお願いしています。

○①紫波町総合福祉センターに通じる都市計画経路はどうなったのか。

②日詰の良さをマップにし、みんなで町づくりをしては。

③盆踊り参加者が減少している。町おこしとして検討してみてもどうか。

●【都市計画課長】

①都市計画道路の整備率は約70%となっています。今後、都市計画マスタープランに基づいて、未整備の都市計画道路については、路線ごとに整備するのか、必要な所だけ整備するのかを、検討していきます。

内川釣具店から堤防に通じる道路（町道下町東裏線）までの区間は、土木課で改良工事をする予定です。

他市町村の整備事例を見てみると、セットバックによる高規格道路の整備がすべて良い結果を生み出しているわけではないと考えています。

●【産業部長】

②③まちづくりは、資源発掘し、どう磨きをかけ、誰がやっていくかで動いていくと考え

ています。盆踊りについては、再検討していこうと思います。

○①幼稚園のポスター掲示を公民館で断られた。町でも幼稚園を応援してほしい。

②保育所だけ3人目以降無料なのはなぜか。

③紫波町の就園奨励費の現状を教えてください。

●【生涯学習課長】

①ポスター掲示については、お知らせなら良いが、園児募集はお断りしています。しかし一律販売規制はしていないので、教育委員会に相談していただければ、内容を見て判断したいと思います。

③就園奨励費については、後日回答させていただきます。

●【福祉課長】

3人目以降が無料なのは全国共通です。それに加えて町では、減額して70%の保育料にしています。

=====

【町長所見】

・保育所と高齢者施設について

現在、国の規制があって同じ施設内での設置は難しいが、併設などして考えていきたいと思っています。しわ寄せについても、責任上公営ですが、徐々に民営化へ考えていきたいと思っています。

・生活実態調査について

生活状況の厳しさ、農家への課題（TPP）など、生活実態を把握していかなければと思っています。

・プライバシー権について

福祉の問題には、プライバシーの法律の緩めも必要だと考えています。

・公民連携について

都市化と農村の良さを、循環型まちづくりを基本にし、公民連携手法でまちづくりを進めていきたいと考えています。

・災害時の対策について

ボランティアの受け入れについては、社会福祉協議会とともに進めていくことになっています。大きな災害時の受け入れ、対応は、防災訓練などで進めていきます。

- ・日詰のまちづくりについて

住民と町が一体になるまちづくりを進めるのが大切だと考えています。婦人会などの組織があるので、まちづくりがうまくいくと感じています。

- ・学校の改築について

今ある施設をどうリニューアルするかを考えていきたいです。

皆さんからご意見をいただきながら住みよいまちづくりをしていきたいと思います。

平成25年度 まちづくり座談会（水分地区）

◎会場 水分公民館

◎日時 7月6日（土）午後1時30分～3時30分

◎参加者 14人

◎役場出席者 19人(町長、教育長、建設部長、経営支援部長、福祉課長、商工観光課長、水道事業所長、企画課長、税務課長、教育部長、学務課職員1人、福祉課職員2人、企画課職員6人)

質 疑 応 答

=====

1部：「町からの話題」について

○地域づくり活動補助金は、県の補助金とあわせて申請可能か。

●【企画課長】

同じ内容を二重に申請できませんが、すみ分けされた内容であれば可能です。制度の見直しは必要だと考えています。

【補足】

県やその他の補助金に制約がないか注意が必要です。

○オガールの利用者とマルシェの利用者数は、重複したものなのか。

●【企画課長】

重複については正確には把握していませんが、実際の施設利用に応じて機械でカウントしています。同時に多くの人が通過するとカウントできないので、実際の利用者はもう少し多い可能性があります。

○庁舎の身障者用駐車場は、どこにあるのか。

●【企画課長】

新庁舎の北側の入口付近に屋根をつけて設けます。（駐車場側の庁舎入口付近）

○オガールベースのスポーツアカデミー事業は、何種類計画しているのか。

●まだ予定ですが、サッカーや自転車なども検討しているようです。

《休憩》

〇①防空ごうをつくってほしい。

②姉妹都市と、貿易をしたい。

●【経営支援部長】

①戦争のないような国を、みんなで作りたい。

②姉妹都市との交流はありますが、貿易となると難しいです。

〇エネルギー政策として実施する、公共施設の屋根を利用した「太陽光発電プロジェクト」は進んでいるのか。屋根を貸す公共施設の数や面積、貸付料などはどうなっているのか。

●【企画課長】

契約には至っていない状況です。

●【町長】

現在、金融庁で審査中であります。

19の施設で、約0.6kwの予定。1坪100円/年の貸付料で20年貸付する方針です。工事、調達は事業者をお願いする予定です。

〇サックス付近の交差点の標識が「平沢」になっている。

●【建設部長】

確認し、対応したいと思います。

〇紫波南大橋のつなぎ目が盛り上がっているので、改善をお願いしたい。

●【建設部長】

確認し、対応したいと思います。

〇オガールタウンの制限について。

- ・町民以外でも購入は可能か。
- ・建物の規格の指定はあるのか。

●【公民連携室長】

町内だけではなく、盛岡を中心に県内にも販売の促進を図っていきたく考えています。住宅の条件は、町内の工務店に建設を依頼するか、エコハウス導入に協力していただく

ことなどを検討中です。条件を満たさない場合は、白紙に戻す特約もあります。

建物の企画は、高さ制限（9 m）がありますが、平屋でも2階建てでも、どちらでも大丈夫です。

○フットボールセンターをドーム型にできないか。

●【企画課長】

運営は県のサッカー協会です。建築コストなどから、実現は難しいと考えられます。

○オガールタウンの分譲にかかる宅建業法の規制はあるのか。

●【企画課長】

地方公共団体には適用されません。

○エコ3センターの畜産ふん尿の取扱時の手数料の考え方について。

●【経営支援部長】

持ち帰り確認させていただきます。

○消防車、救急車の自動車工場・消防学校、警察学校の誘致はできないか。

●【経営支援部長】

工場は、限られた場所で製造するものであり、困難です。
学校についても、機会があればその時検討したいと思います。

○西部開拓線の歩道のない部分への安全対策をしてほしい。

桜の木を植えたいと考えている。

●【建設部長】

西部開拓線は、道路側溝が土側溝のところもありますので、側溝の整備と一緒に歩行空間も確保するなど、費用のことを考えながら検討していきます。

○通学時のクマの出没が心配。高性能なクマ鈴の貸し出しも検討してほしい。

●【学務室長】

クマ鈴は、クマの出没頻度が高いと思われる地域から通学する児童に、学校を通じて優先的に貸し出しています。貸し出し品は標準的なものです。特に高性能な鈴については、

ご家庭でご負担いただきたいと考えています。

○クマは殺処分するのか。

●【企画課長】

檻に入ったものは山に帰し、人に危害を加えたものは殺処分になると思います。

【町長所見】

・オガールタウンについて

オガールタウンには、付加価値をつけたいと考えています。地元工務店は技術を習得し、エコハウスなど、町内の家屋建築に応用していただきたいと思います。現在、さまざまな課題のクリアに向けて進行中です。

・あづまねエリア

今後、あづまねエリアの活用も検討していこうと思います。

水分地区と中央部の連携を大事にし、多方面で対応していきたいです。